

《担当者名》○田中真樹 高橋祐輔

【概要】

血液病態解析学特論で学んだ内容に基づいて、造血器腫瘍、貧血や血栓・止血疾患などの病態解析学的に関連する国内外の状況を検索し、発症の機序、検査法や治療法に関する知識を深める。さらに、研究遂行に必要な応用的知識を習得することを目標とする。

【学修目標】

- 1) 血液病態と検査法に関する研究手法を身につけるため、分子生物学的手法を理解する。
- 2) 血液病態に関する文献を広い分野で抄読し、分子・遺伝子レベルでの研究動向を説明できる。
- 3) 分子生物学的手法による研究成果を正確に評価できる。
- 4) 臨床血液分野における新たな検査法の可能性を推論できる。
- 5) 高度専門職業人として質の高い臨床検査の知識・技術を提供できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	血液学の構造と機能	・血液検査学の基礎的文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹
2	造血のしくみ	・骨髄の構造と機能関連の文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹
3	鉄の代謝	・体内の鉄分布・代謝・欠乏関連の文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹
4	ビタミンB12	・ビタミンB12代謝関連の文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹
5	悪性リンパ腫	・悪性リンパ腫関連の文献を抄読し研究動向を探索	高橋祐輔
6	急性骨髄性白血病	・急性骨髄性白血病関連の文献を抄読し研究動向を探索	高橋祐輔
7	骨髄増殖性疾患	・慢性骨髄性白血病関連の文献を抄読し研究動向を探索	高橋祐輔
8	骨髄異形成症候群	・骨髄異形成症候群関連の文献を抄読し研究動向を探索	高橋祐輔
9	多発性骨髄腫と類似疾患	・多発性骨髄腫関連の文献を抄読し研究動向を探索	高橋祐輔
10	鉄欠乏性貧血	・鉄欠乏性貧血関連の文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹
11	巨赤芽球性貧血	・巨赤芽球性貧血関連の文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹
12	再生不良性貧血	・再生不良性貧血関連の文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹
13	血小板異常	・血小板の異常関連の文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹
14	凝固因子異常	・凝固因子異常関連の文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹
15	播種性血管内凝固症候群	・播種性血管内凝固症候群関連の文献を抄読し研究動向を探索	田中真樹

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート100%

【評価基準】

造血器腫瘍、貧血や血栓・止血疾患などの病態に関連する国内外の状況を検索し、発症の機序、検査法や治療法に関する知識を

理解し研究遂行に必要な応用的知識を説明できる者に単位を付与し、学修目標に記載する能力（知識・技能、思考力、判断力、表現力など）の達成度に応じて、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）の評価を与える。

**【教科書】**

教科書は使用しない、その都度プリントを配付する

**【参考書】**

Willams Hematology 10th Edition  
Color Atlas of Clinical Hematology Fifth Edition  
配布資料(論文)

**【備考】**

Google Formを用いてレポート課題を提出する。

**【学修の準備】**

次回の授業内容について、調べておくこと(30分)。  
復習は、配付資料を活用し理解を深めること(30分)。

**【ディプロマポリシーとの関連性】**

(DP2) 臨床検査に携わる高度専門職業人として、医療環境の変化や社会的ニーズを把握し、臨床検査や関連研究から新しい知識と技術を修得、実践・応用し、質の高い臨床検査を提供できる能力を身につけていること。

**【実務経験】**

田中真樹(歯科医師)、高橋祐輔(臨床検査技師)

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関での実務経験を活かし、血液病態解析学の総論と各論の演習を行う。